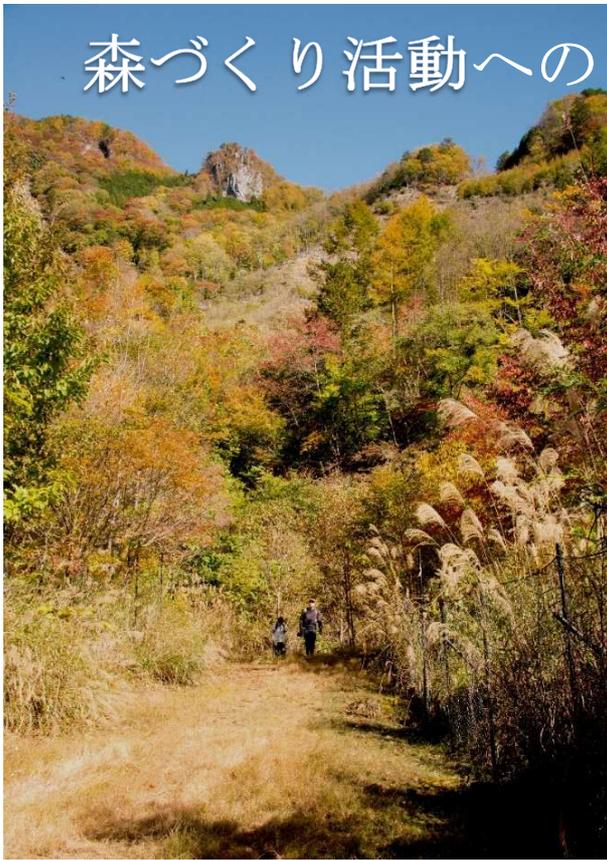


# 森づくり活動へのご支援のお願い



県有林山吹沢植栽地

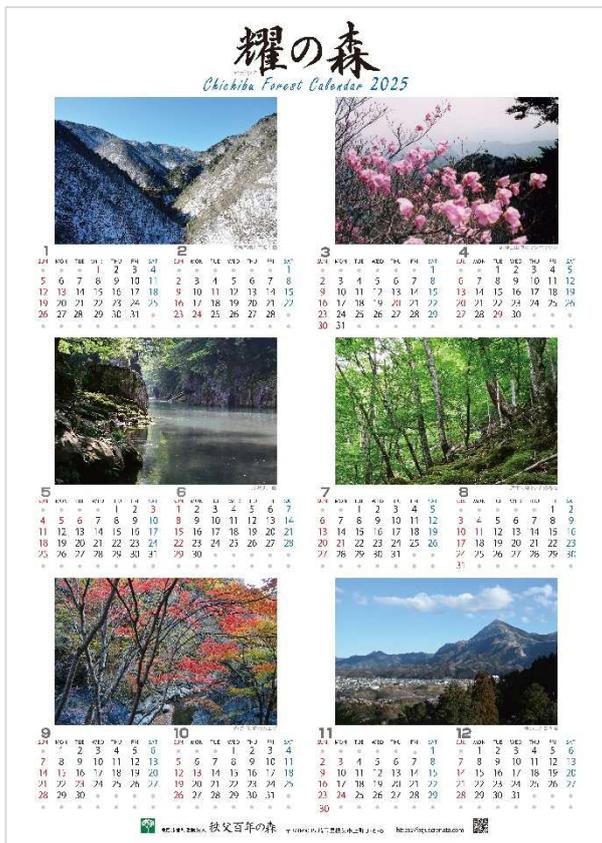
秩父地域は、その面積の87%を山林が占めています。しかし、林業の衰退により山林の荒廃が進み、危機的な状況に陥っています。この荒れた森を何とかしたい、森を活用したいという思いから、私たちは活動を始めました。

森で種を採取し苗を育て、植樹や下草刈りを行いながら、大切に森を育てています。森が再生し、本来の姿を取り戻すには20年以上の時間がかかります。

このように長い時間と手間がかかる私たちの活動は、多くの皆さまからのご支援とご協力によって支えられています。

これからも《未来へつなぐ森づくり》に取り組んでまいります。引き続き、温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 2025年カレンダー



再び森に耀きもどることを願って、「耀の森」と名付けました。

### 甦れ！「耀の森」

1月—2月

#### 黒岩尾根と雁坂大橋／豆焼橋より

黄色の雁坂大橋を渡りトンネルを抜けると、そこは甲州で、奥の稜線は黒岩尾根が見え、雁坂までの登山道が通っています。秩父の最西端、もちろん埼玉の最西端です。

3月—4月

#### 両神山山頂のヤシオツツジ／両神山

日本百名山の一つ両神山(1723m)、そこはピンクに染まるツツジの花園、アカヤシオ(赤八汐)です、山頂はピンク色に染まります。

5月—6月

#### 光映す川面／荒川本流

荒々しい荒川の流れも、深い淵では流れが緩やかになり、川面は周囲を映し出す。光が差すとキラキラ輝き、夢の世界に入り込んだような錯覚に陥ります。

7月—8月

#### 青空に聳える妙法ヶ岳／裏参道より

秩父の森林率は87%、そのうちスギやヒノキに植え替えられた人工林は47%です。残された天然林は、動植物にとって貴重なエリアとなっています。夏でも涼しい風が吹く森では、心も身体も洗われるような感覚に包まれます。

9月—10月

#### 鮮やかにモミジ色づく中津川／持桶

夏から冬へ移ろうとき、短い秋をカエデが彩ります。はらはらと舞い散る落ち葉。幹にたつぷりと養分を貯め込んだカエデは、寒い冬の眠りにつきます。

11月—12月

#### 神の山と暮らす街／武甲山

日本の高度成長を支えた武甲山は、また神の山でもあります。石灰岩の採掘で山の姿は変貌しましたが、それでもなお秩父の象徴です。



特定非営利活動法人

秩父百年の森

<https://faguscrenata.com>

